

●取扱説明をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
そのあとと保存し、必要なときにお読みください。

ご使用前に

▼この商品は自転車用米式バルブチューブ（プチルゴム製）です。他の目的には使用しないでください。
▼タイヤ、チューブの交換は専用工具や専門知識が必要
です。整備士資格のある専門店または専門コーナーに依
頼されることをお奨め致します。ご自分で交換される場合、
自転車の種類によって方法が異なりますので、分解・組立
方法については自転車メーカーへお問合せください。
▼ご購入の前に必ず交換されるチューブと同じ「リム型式」
および「直径・幅」であることを確認してください。

W/Oリムの場合 ①リム型式
(例) W/O 26 x 1.3^g ②チューブの直径(インチ)
③チューブの幅(インチ)

H/Eリムの場合 幅の表示：
(例) H/E 26 x 1.75 W/Oは分数
① ② H/Eは小数点

*W/OリムとH/Eリムとは互換性がありません。W/OタイヤはH/E
リムに、H/EタイヤはW/Oリムに、装着ができませんのでご注意ください。



>PP<

安全上のご注意 (必ずお守りください) ⚠警告

■空気圧はタイヤ側面に
刻印されている推奨
内圧に従う

！ バンクによる
転倒の原因と
なります。

■走行前にタイヤに釘
やガラス片などの突起
物がささっていないか
点検する

！ バンクによる
転倒の原因と
なります。

■子供など取扱いに不
慣れた方だけで使わせ
たり乳幼児の手の届く
所で使わない

⊘ 誤飲の原因
となります。

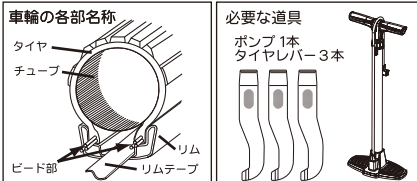
■リムへの取り付けの
際、油やワックスは使
用しない

⊘ 走行中にタイ
ヤがはすれて
転倒の原因と
なります。

米式バルブチューブ取扱説明

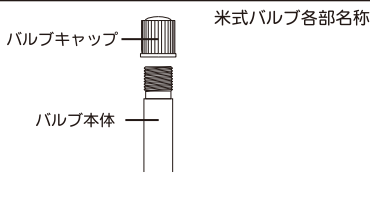
- ▼チューブの取りはずしや取り付けには必ず専用工具のタイヤ
レバー（別売）を使用してください。※ドライバーなどを使用
するとタイヤやチューブを傷つけます。
- ▼チューブの交換時に、リムテープ（別売）も新しいものと交換
してください。※リムテープとは、スポーク穴をふさぐた
めのゴムまたは樹脂製のバンドのことです。（下図参照）
- ▼購入直後の製品でも、在庫の保管期間や状態によってはゴム
が経年変化し、チューブにひび割れや亀裂を生じたりする場
合があります。装着前に異常があった場合、使用せずご購入
店または下記の弊社「お客様相談室」へご連絡ください。

正しいチューブの取り替えかた

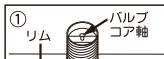


※タイヤレバー・ポンプは当社オリジナル製品をおすすめいたします。

米式バルブチューブの取りはずしかた



①バルブのキャップを外し、右図
のバルブコア軸を細い棒で押し
空気を抜いてください。



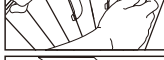
②ビード部にタイヤレバーを10cm
位の間隔で1本ずつ差し込み、
矢印の方向に倒してください。
※このときチューブを傷つけない
ように、タイヤレバーはビード
部をかき上げるように注意。
※タイヤレバーを差し込む際、
レバーがスポークから外れない
ようにしっかりとかけらる。



③リムに沿って20～30cm程度、
②の作業を繰り返しながらビード
部を外し、残りのビード部は
指で外してください。



④片側のビード部全体をリムから
外す。その後バルブ部分を残し
てチューブを取り出します。



⑤タイヤと、チューブのバルブ部
分をいっしょにつかみ上げ、
もう片方のビード部をリムから
外します。



お願い

- タイヤの空気圧チェックは走行前に必ず行ってください。
※空気の入れ過ぎや低圧使用はタイヤの破損やパンクの原因と
なります。必ずタイヤの標準空気圧に従ってください。
- チューブが以下の状態になった場合は直ちに交換してください。
1.ひび割れ、亀裂、シブ、傷、摩耗がある場合。
2.バルブに変形、破損がある場合。
- チューブの取り付けやバンク修理の際に、チューブをタイヤの
外に出した状態で空気を入れ過ぎるとチューブが変形したり
破裂したりします。入れ過ぎないように注意してください。
- ブレーキゴムがタイヤ側面に当たらないよう装着してください。
- 直射日光や雨の当たるところに置かないでください。
- ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
- ガソリン・有機溶剤・油類のあるところに置かないでください。
- 取扱い等不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談室」
にお問い合わせください。

米式バルブチューブの取り付けかた

①タイヤにチューブのバルブ部分
はめ込み、リムのバルブ穴に
チューブのバルブを通してくだ
さい。



②リムに沿って片側のビード部を
徐々にリムにはめていってくだ
さい。
※このときチューブをはさまな
いように注意。



③チューブをタイヤの中に入れて
ください。
※このときチューブをねじったり、
折り曲げたりした状態で無理
にタイヤを押し込まないよう
に注意。



④もう片方のビード部をバルブの
反対側（図の矢印の位置）から
リムに沿って徐々にはめてい
ってください。
※このときチューブをはさまな
いように注意。



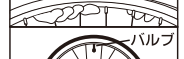
⑤バルブ部分へのビード部はめ込
みは、チューブがはさまらない
ようにバルブを③図のようにリ
ムの内側に2～3回軽く押し込
んでください。



※ビード部を両側ともはめた後、
リムとビードの間にチューブが
はさまっていないか両側のビ
ード部を必ず点検する。
はさんだまま空気を入れるとバ
ンクします。



⑥空気をすこし入れてビード部が
リムに均一にはまっているか点
検してください。均一でない場
合は手でもんで調整します。調
整の後空気を徐々に入れてくだ
さい。



※ポンプはポンプの取扱説明書に
従って正しく使用する。
⑦空気圧はタイヤに表示されて
いる標準空気圧（推奨空気圧）
に従ってください。最後にバル
ブのキャップをつけて終了です。



※バルブキャップは必ず装着す
てください。バルブ内へのホ
コリ、水分の侵入を防止します。

